

重点事項 1

見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進

海の事故で一番多いのが衝突、その主な原因は「見張り不十分」や「不適切な操船」です。

1 常時適切な見張りの徹底

「居眠り運航」や自動操舵任せで見張りをおろそかにせず、常時適切な見張りを行いましょう。

2 船舶間コミュニケーションの促進

早期に船舶間のコミュニケーションを図り、相手船の動きを把握することで、適切な操船を行いましょう。

● 早めに相手船にわかりやすい動作をとる

● 国際 VHF や汽笛信号などを活用する

● AIS 情報の活用と正しい情報の入力

なんといつでも見張りが重要です!!



重点事項 2

プレジャーボートの発航前点検の徹底

発航前点検をしつかりと!!



プレジャーボートによる事故は全体の4割以上、特にエンジントラブルによるものが増えています。

- 燃料
- エンジンオイル
- バッテリー電圧
- 冷却水 など

の発航前点検を確実に行きましょう。



重点事項 3

ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保

万が一海に転落した場合、①海上に浮く②速やかに救助要請という2点が必要不可欠です。



1 ライフジャケットの常時着用



2 連絡手段の確保



3 海の緊急通報

海上保安庁へのお問い合わせは、最寄りの官署へ

- 第一管区 海上保安本部 (小樽) 電話 0134-27-0118
- 第二管区 海上保安本部 (塩釜) 電話 022-363-0111
- 第三管区 海上保安本部 (横浜) 電話 045-211-1118
- 第四管区 海上保安本部 (名古屋) 電話 052-661-1611
- 第五管区 海上保安本部 (神戸) 電話 078-391-6551
- 第六管区 海上保安本部 (広島) 電話 082-251-5111
- 第七管区 海上保安本部 (北九州) 電話 093-321-2931
- 第八管区 海上保安本部 (舞鶴) 電話 0773-76-4100
- 第九管区 海上保安本部 (新潟) 電話 025-285-0118
- 第十管区 海上保安本部 (鹿児島) 電話 099-250-9800
- 第十一管区 海上保安本部 (那覇) 電話 098-867-0118

JAPAN COAST GUARD

海の事故ゼロ

キャンペーン

海では安全が一番大事。海の事故ゼロ目指しましょう!!

2015年度「ミナトの日」大河南都子

2015 7/16 ▶ 31

全国海難防止強調運動

海難0への願い

■主 催 / 海上保安庁 (公社)日本海難防止協会 (公財)海上保安協会
■後 援 / 総務省 文部科学省 水産庁 国土交通省 海保審判所 気象庁 運輸安全委員会 (公財)日本海難センター